

PM2.5が見える

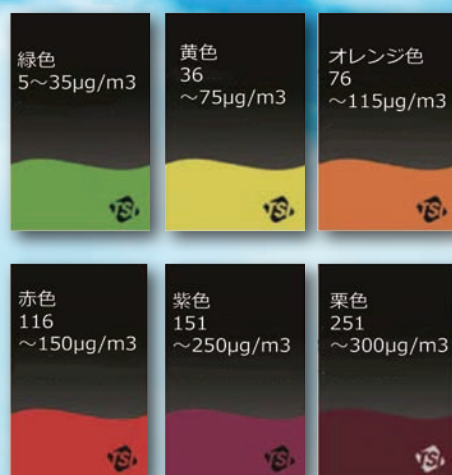
- 一目で分かる4.3インチカラーLCDディスプレイ

- PM2.5をリアルタイムに濃度表示

- 6色のイルミネーションでPM2.5を確認



PM2.5 濃度センサー モデル IPM2.5



- PM2.5 吸入口

- 設置する環境に配慮したシンプルな構造

使用場所例

オフィス、学校、病院、レストラン、ショッピングセンター、家電量販店、映画館、ホテル、空港、駅、博物館、高機能住宅など

●イーサネット通信でビルコントロールシステムに連動

IPM2.5は単独で使うことが可能です。
また、複数のIPM2.5をネットワーク上で管理することが可能です。
アナログ信号(4-20mA)またはデジタル信号(イーサネット)で
ビルのコントロールシステムとコミュニケーションすることができ、
空調システムと連動させることで、異なる階層や部屋などのエリアにおける
PM2.5濃度データをリアルタイムに表示することができます。



ネットワーク接続例



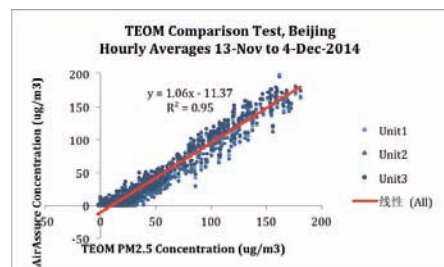
検出部概略

●先進的な光学研究技術

IPM2.5は光散乱計測の原理を用いてPM2.5を検出します。
室内空気を一定流量で均一にサンプリングし、光学系チャンバへと移動させます。
チャンバにはLED光源から光が照射されており、粒子がこの空間を横切る際に光を
散乱させます。
この散乱光の強度を電気信号に変換させ、TSI社独自のアルゴリズム(特許出願中)
を利用し、室内のPM2.5質量濃度を算出します。

●標準機器との比較検証を実施

U.S.EPA TEOMの標準法および、環境省PM2.5自動測定機認証機器との
東京ダイレック社内比較実験実施
(※弊社ホームページで社内試験データ公開中!!)



比較データ

●エアロゾル分野では信頼のある米国TSI社製

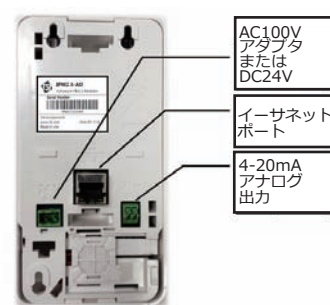
米国TSI社(ミネソタ州)は1961年創立以来、エアロゾル研究の世界的なリーダーカンパニーとして、
エアロゾルに関する技術の発展に貢献しています。
また、環境保全・計測等に関する国際的な団体に参加しており、技術協力を積極的に行っています。

仕 様

- | | |
|---------------------------------------|--|
| ● 検出器
光散乱光学計 | ● 検出質量濃度範囲
5~300 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ |
| ● 表示分解能
1 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ | ● ゼロ安定性
$\pm 10 \mu\text{g}/\text{m}^3$ |
| ● 設置環境
室温10~30℃ / 湿度: 65%RH以下 | ● 時定数
5分移動平均、表示は1秒毎 |
| ● 寸法
162×85×33 (mm) (長さ×幅×奥行) | ● 重さ
200g (本体) |
| ● 電源
AC100V (専用電源アダプタ)
またはDC24V | ● 表示言語
英語 |
| | ● 屋外測定用ケース
(オプション) |



IPM2.5 表面



IPM2.5 裏面

Dylec 東京ダイレック株式会社



UNDERSTANDING, ACCELERATED

東京本社 〒160-0014 東京都新宿区内藤町1 内藤町ビルディング
TEL 03-3355-3632 FAX 03-3353-6895 (代表)
TEL 03-5367-0891 FAX 03-5367-0892 (営業部)

西日本営業所 〒601-8027 京都市南区東九条中御霊町53-4-4F
TEL 075-672-3266 FAX 075-672-3276